

平成 20 年度牛乳乳製品消費拡大特別推進事業

酪農体験学習実施報告書

(モデル牧場用)

報告日付	平成 20 年 10 月 2 日			
モデル牧場名	小川牧場			
代表者名	小川文夫 			
記入者名	小川文夫			
住所/連絡先	〒 098-5702 (01634-2-4563 /fax : 01634-2-4577)			
学校名/団体名	浜頓別町立豊寒別小学校			
学年(年齢)	3~4 年生			
体験日時	平成 20 年 6 月 30 日 午前 10 時 0 分			
連絡先	〒 098-5702 豊寒別小学校 (TEL: 01634-2-4530 /fax : 01634-2-4530)			
担当者(責任者)名	川上先生			
体験人数	2 人			
引率者数	1 人			
体験料金	<input checked="" type="checkbox"/> 有料(円/人)	<input checked="" type="checkbox"/> 無料)
訪問形態	<input type="checkbox"/> 移動教室 <input type="checkbox"/> 遠足 <input checked="" type="checkbox"/> 校外授業 <input type="checkbox"/> 修学旅行 <input type="checkbox"/> 職業体験 <input type="checkbox"/> PTA 活動 <input type="checkbox"/> 子ども会活動 <input type="checkbox"/> その他()			
体験学習の目的	酪農の仕事について知り、酪農を指定高田との対話を通して地域を学ぶ。現在の酪農を学習し今後の酪農に興味を持つ			
教科との関連	<input type="checkbox"/> 生活科 <input type="checkbox"/> 総合的な学習 <input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会科 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 図工 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> その他()			

学校（団体）との事前打ち合わせの内容

① 体験のねらいや体験内容について

体験のねらい歯、目的の通り。体験内容は、酪農の話、搾乳体験、哺乳体験、アイス作り体験、農業機械の見学と説明。

② 安全・衛生管理について

事前打ち合わせの時に先生に現地を確認していただき、安全な場所を確認。当日も前段で危険な箇所について説明。衛生面では、丁寧な手洗いと紙ペーパーによる手ふき、その後の消毒。

③ その他

実際の体験学習の内容（スケジュール）

※牧場ツール（紙芝居・牛体の部位等）は必ずひとつは使用して、プログラムを組んでください。

時 間	体験プログラム	具体的な活動の内容
10:00	開会あいさつ	
10:05	酪農の話	酪農体験を通しての命と食の大切さをスライドで説明
10:30	搾乳体験	牛の説明をしながら体験をしていただく
11:00	子牛の哺乳	お母さんにミルクを飲ませていただいたことを想像していただきお母さんに感謝する気持ちを持つことの大切さを伝える。
11:15	手洗い	丁寧に
11:20	農業機械の見学説明	農業機械の利用について説明、写真撮影
11:30	アイス作り体験	試食のかねて。
12:05	まとめ、閉会	

① 事前に準備した内容

器具、機材の点検、パワーポイントの確認。

② 安全・衛生面で配慮した点

事前の説明

体験後の学校（団体）との関わり

牧場ツールを使用した場面や感想

- ① 紙芝居
- ② 牛体部位シート
- ③ マジックボックス

酪農教育ファームを実施していくまでの課題や要望

※この報告書は、牧場における事例集作成のために活用するもので、体験学習実施後、
3週間以内に指定団体宛、提出してください。

※提出は、郵送またはメールにてお願いします

■提出先および問い合わせ先

指定団体名 :

住所 :

担当部署/担当者名

連絡先 : 電話

FAX

メール :

酪農体験学習活動報告書(別紙フォーマット)

学校名

浜頓別町立豊寒別小学校

所在地

枝幸郡浜頓別町豊寒別

TEL

01634～2～4530

FAX

01634～2～4530

ホームページ

e-mail

tojosyou@mail.town.hamatombetsu.
hokkaido.jp.

学校長名

担当教諭名

宮田典子

川上利香

学級数

(3)

児童数

生徒数

(6)

教職員数

(計)

(10)

名

名

学区や地域の特色

浜頓別町は北東に広大なオホーツク海が開け、北西に猿払村、南西に中頓別町、南東は枝幸町と境を接している。

本校学区内では、海岸に近い豊牛地区に9戸、原野が中心の豊寒別地区には21戸、合計30戸が居住し、地域の主産業は酪農業である。地域は経済的には比較的安定しており、自治会に対する関心・意欲も高く、積極的に自治会活動に参加し協力的である。また、学校教育に対する理解も深く、全戸がPTA会員として学校行事などへ積極的に参加・協力している。

学校の特色

本校は、地域の高齢化・過疎化とともに児童数が激減する中、学校存続に対する地域父母の強い願いをもとに行政の理解と支援を受けながら平成7年度より山村留学制度を導入してきた。関東圏及び関西圏を中心に全国各地から集まっていた。今年度は、児童数6名と減少した。本校の児童にとって、地域の恵まれた大自然や家族的な小規模校での学校生活、また、地域の人達との生活はこれまで育ってきた環境とは大きく異なり、豊かな自然の中での多くの体験学習や体力作りなどを通し、児童は、互いに認め合うことの大切さ、協力的な態度や思いやりの心などの豊かな心と健康でたくましい体の育成を目指し、教育活動を推進している。

酪農体験学習実践報告書

1. 活動計画

(1) 体験の種類

「地域学習～豊寒別の酪農を学ぼう」

「小川牧場」住所～枝幸郡浜頓別町豊寒別

(2) 教科

「総合的な学習の時間」

(3) 時間数

10時間

(4) 形態

校外学習

(5) 学習のテーマ

「豊寒別の酪農を学ぼう」

(6) 学習のねらい

①自分の住んでいる地域を支える酪農の仕事について興味をもつ。

②酪農従事者とのふれあいを通して地域を知る。

③現代の酪農のあり方を学習し、今後の酪農のあり方について興味をもつ。

2. 活動の実際

(1) 酪農家巡り

豊寒別の全酪農家をまわり、飼育している牛の頭数や使われている機械などを調べる。

牛舎の中を見学したり、実際に牛と触れ合ったりする。

(2) 酪農体験

①日時 平成20年6月30日

②会場 小川牧場

③学年 第3・4学年

④人数 児童2名 引率1名

⑤体験の内容

搾乳体験とアイスクリーム作り体験

牛についての学習

(3) まとめと豊寒別の牛乳の行方

豊寒別の全酪農家で調べてきたことや体験したことを見やすくまとめる。

最後によつ葉乳業へ行き、牛乳がどう加工されているのかを見学し、学習する。

